保育所等の利用における調整のための基準 (保育所等利用調整基準)

(1)基本指数表

	保育を必要とする理由		指数
		160時間以上	100
		140時間以上	90
		120時間以上	80
	外勤	100時間以上	70
		80時間以上	60
		60時間以上	50
		160時間以上	100
		140時間以上	90
	 自営・農業(事業主又は家計	120時間以上	80
	·		
	の主体者)	100時間以上	70
		80時間以上	60
		60時間以上	50
		120時間以上	80
	 自営・農業(協力者)	100時間以上	70
		80時間以上	60
		60時間以上	50
	内職		40
②妊娠、出産	妊娠・出産		80
3保護者の疾病、障害	入院	概ね1か月以上にわたる入院	100
		入院に相当する治療や安静を要する自宅	100
		療養で1か月以上にわたる病臥	100
		週3日以上の通院加療を要する場合及び	
	疾病	精神疾患	80
		上記以外で1か月以上にわたり継続的な	
		通院加療が必要と認められる場合	60
		身体障害者手帳1・2級、精神障害者保健	
			100
		福祉手帳1・2級、療育手帳A、要介護4・	100
	7. ch	5級	
	障害	身体障害者手帳3・4級、療育手帳B、要	80
		介護3級	
		身体障害者手帳5・6級、精神障害者保健	60
		福祉手帳3級、療育手帳C、要介護1・2級	00
④同居又は長期入院等している親族の介護・看護		介護・看護が必要な人が入院・通院等	80
		介護・看護が必要な人が身体障害者手帳	
		1・2級、精神障害者保健福祉手帳1・2	100
		級、療育手帳A、要介護4・5級	
	介護・看護	看護が必要な人が身体障障害手帳3・4	0.0
		級、、療育手帳B、要介護3級	80
		介護・看護が必要な人が身体障害者手帳	
		5・6級、精神障害者保健福祉手帳3級、	60
		療育手帳C、要介護1·2級	
	 災害復旧		100
シベニ 後 in ⑥ 求職活動	求職活動		20
	イントマナタン (口 主が)	160時間以上	100
⑦就学	就労を目的とする就学		90
		140時間以上	
	ただし、他に就労している場合	120時間以上	80
	合、就労時間を就学時間に加	100時間以上	70
	算した時間	80時間以上	60
		60時間以上	50
⑧虐待・DV	虐待やDVのおそれがあること	-	200
⑨育児休業	・育児休業取得前から継続して	・育児休業取得前から継続して保育所等を利用している2歳児クラスの児	
	童の保護者	童の保護者	
	・育児休業を取得している3歳児クラス以上の児童の保護者		
⑩その他	その他上記に類する状態として	福祉事務所長が認める場合	~200

(2)調整指数表

内容		指数
3人以上の入所		9
育休・産休明け	- 4項目について、最も指数の高い1項目の	8
きょうだい同時申込み きょうだい同時入所中	みを優先要件として加算する	7
生活保護		6
ひとり親世帯		100
保護者が市内保育所等において月120時間以上保育に従事している	全ての保護者の就労状況を確認し、それ	50
保護者が市内保育所等で60時間以上120時間未満又は市内保育所等以外の施設・事業所において60時間以上保育に従事している	ぞれの指数を加算する	20
市内の年齢に上限のある保育所等の卒園に伴う転所申込み		19
保育可能な65歳未満の祖父母と同居している		-15
保育料等滞納者		-39
その他	その他上記に類する状態として福祉事務 所長が認める場合	~100

(3)同一指数時の順位表(基本指数と調整指数の合計が同一の場合)

優先順位	内容
1	両親ともに不存在又はひとり親世帯
2	市内の年齢に上限のある保育所等の卒園に伴う転所申込み
3	保護者の基本指数のうち、いずれか低い方の指数が高い世帯
4	きょうだいが市内保育所等に在園している
5	保護者の基本指数のうち、いずれか低い方の項目を次の順位で優先する 災害復旧 >疾病・障害 >居宅外労働(自営、農業を除く)>自営(居宅外)>自営(居宅内)>農業>就学>妊娠・ 出産>親族の介護>内職>求職活動>育児休業
6	保護者の基本指数のうち、いずれか低い方の就労時間数の長い世帯
7	保護者の基本指数のうち、いずれか高い方の項目を次の順位で優先する 災害復旧 >疾病・障害 >居宅外労働(自営、農業を除く)>自営(居宅外)>自営(居宅内)>農業>就学>妊娠・ 出産>親族の介護>内職>求職活動>育児休業
8	保護者の基本指数のうち、いずれか高い方の就労時間数の長い世帯
9	校区内に居住している世帯

(備考)

- *(1)基本指数と(2)調整指数を合計したものを世帯の指数とし、高い順に入所を決定する。世帯の指数が同一の場合は(3)同一指数時の順位表の優先順位により入所を決定する。
- *(1)基本指数は保護者それぞれにつき高い方の項目を採用する。
- *①就労の就労時間数は「就労証明書」の「1か月あたりの労働・休憩時間」とする。
- *(2)調整指数は保護者の該当する項目の合計指数を加算する。
- *保育所等とは、保育所、認定こども園又は家庭的保育事業等とする。